

福祉

わかやま

寄り添い つながる 広報誌

vol.452

7 2025
月号



この広報誌の発行に
一部共同募金配分金を
利用しています。



寄り添うことで

暮らしが豊かになる

一人ひとりの人生に寄り添い、住み慣れた
場所での生活を支えるホームヘルパー

今月の表紙

山間地域を走る

ホームヘルパー

(3pに関連記事)



Facebook



Instagram



社会福祉法人 和歌山県社会福祉協議会

寄り添うことで 暮らしが豊かになる

一人ひとりの人生に寄り添い、住み慣れた場所での生活を支えるホームヘルパー



介護が必要になっても住み慣れた場所で自分らしい生活を送ることができるように、ホームヘルパー（以下、「ヘルパー」という。）がお宅を訪問し、一人ひとりのケアプランに基づいた介護サービスを提供する「訪問介護」。訪問介護の主役であるヘルパーの人材不足は深刻であり、令和5年度の有効求人倍率（※）は14.14倍と高い水準となっています。併せてヘルパーが高齢化しており、人材確保は喫緊の課題となっています。

また、令和6年度の介護報酬改定で訪問介護の基本報酬が引き下げられたこともあり、これらの複合的な要因により、全国的にも訪問介護事業所の倒産・休廃業が相次ぐなど、訪問介護は非常に厳しい状況にあります。

一方、ヘルパーは、利用者の「**ふだんのくらし**のしあわせ」を支える重要な仕事であり、利用者と一対一で向き合う時間の中で信頼関係を築くことができ、その人に合ったケアを追求することができる魅力的な仕事です。

今号では、県内で働くヘルパーにスポットを当てて、その魅力ややりがいに触れるとともに、ICT導入で働きやすい職場づくりが進む訪問介護事業所についてもご紹介します。

※有効求人倍率とは…求職者1人に対してどれだけの求人があるかを示す指標。1より大きい場合、求人が求職者より多く、求職者にとって有利な状況となる。

ふだんのくらしのしあわせを支える ホームヘルパー

ヴィヴィファアラ しま 有限会社Vivifara島ゆかこは、和歌山市内で訪問介護等の介護事業を展開しています。
運営する住宅型有料老人ホーム湧れの杜と粋の杜のヘルパーの方にお話を伺いました。



住宅部 主任
介護福祉士
にしかわ けいこ
西川 恵子 さん

利用者さんの日常生活の延長線上で介護サービスを提供できるヘルパーに魅力を感じ、湧れの杜へ入社しました。いざ働いてみて思うのは、利用者さんが皆明るく元気だということ。毎回、こちらがパワーをもらうほどです。驚いたことに、例えば病気等で入院して体の状態が悪化した方でも、ここに帰ってくるとすぐ元気になるんです。住み慣れた環境が、本人にとって一番なのだ実感しています。

私はいつも利用者さんの家族側の立場にたつて、「もし自分の親が介護を受けるとしたら、ヘルパーにどう接して欲しいか」を考えています。それだけに「相手に寄り添える仕事だ」と思うので、興味のある方はどんどんチャレンジして欲しいです。



▲利用者さんと談笑中

ヘルパーを始めて5年。在宅というリラックスできる空間で生活されているからでしょうか。利用者さん一人ひとりの雰囲気がかんじえます。利用者さんは驚くほど感謝の気持ちを伝えてくれます。「ずっとここに居てよ」と声を掛けられた時は、あまりの嬉しさにその日の帰宅後、すぐに家族に話をしました。

どんなに忙しくても手際よく、必要な介護サービスを提供するという理想のヘルパー像を胸に、これからも仕事に励みたいです。



ホームヘルパー
たなか ひとみ
田中 瞳 さん

一方、住み慣れた場所での生活を支えるため、山間地域で頑張るヘルパーもいます。社会福祉法人古座川町社会福祉協議会のヘルパーの方にお話を伺いました。



サービス提供責任者
うえだ ちはる
上田 千春 さん

当事業所の利用者さんは、現在38名です。利用者さんのお宅は山間部にあることが多く、中には車で片道30分以上かかることもあります。週2回の移動販売だけでは日々の生活に必要なものが揃わないので、買い物支援を依頼されることが多いです。



▲ヘルパーを待つ利用者さんのもとへ

山間部の集落では、隣のお宅まで歩いて10分ほどかかる場合があり、高齢ということもあって、近くに住む親族でもあまり会う機会がないという方もいます。そのため、利用者さんはヘルパーの訪問を心待ちにされていて、「仕事しなくていいから、時間いっぱいお話をして。」と言われることもあります。

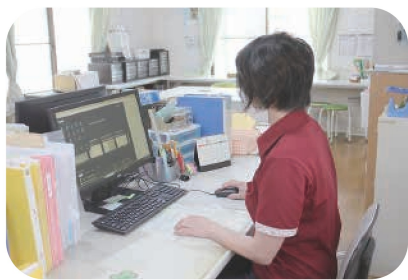
ます。実際そんなわけにはいきませんが、**介護サービス以上に自分達が必要とされているのだと改めて思います。**利用者さんが、「待ってたよ。」と笑顔を向けてくれると嬉しくて、頑張ろうという気持ちになります。

ケアプランデータ連携システムで 働きやすい職場づくりが進む訪問介護業界

昨今、テクノロジーの活用による業務効率化が進む中、厚生労働省は、介護現場の事務負担を軽減するため、居宅介護支援事業所と居宅サービス事業所をつなぐ「ケアプランデータ連携システム」(以下、「システム」という。)の普及を推進しています。システムを導入している、社会福祉法人黎明^{れいめいすみれかい}ホールパー^{ほるぱー}ステーション^{しーしょん}キタデの方に話を伺いました。

当法人では、御坊市のシステム導入支援事業を活用して、令和7年1月から法人内の全事業所でシステムを利用しています。

以前は、サービス提供票(予定・実績)を提出するため、毎月居宅介護支援事業所を約30件訪問していました。システム導入後は訪問件数が10分の1に減ったことで、移動の時間を短縮することができ、また、紙の使用を大幅に削減することができました。操作に慣れるまでは戸惑いもありましたが、今では業務の改善を実感しています。



▲提供票をまとめています



サービス提供責任者
なかむら かずみ
中村 和美 さん

国では、多様な主体が協同して高齢者を支える地域包括ケアシステムを推進するため、関係機関が介護情報等を電子的に閲覧できる基盤(介護情報基盤)を整備し、令和8年度から始動する予定です。これに伴い、事業所間のデータの連携が重要となってくる見通しで、介護事業所には令和7年度中のシステム導入が推進されています。

ヘルパーは “人の命と向き合う 尊い仕事”



和歌山県訪問介護事業所協議会
しま ゆかこ
会長 **島 由佳子** さん

全国的に見て本県は高齢者住宅の入居待ちの方は少ないですが、山間地域では入居型の施設が少なく、ご自宅で暮らしながらヘルパーを待つ高齢者がまだまだいて、この仕事の必要性・重要性を感じています。

しかし、介護分野における人材確保は喫緊の課題で、当協議会でも県内のヘルパー確保に向けて思案しています。近年では外国人介護人材の参入も進んではいますが、まだまだ多くの制度上の課題があります。外国人の方も日本で気持ちよく安心して働いてもらえるよう、事業所間で連携して外国人材の住居を用意する等、費用面でも協力し合える仕組みづくりができればと考えています。

ヘルパーは利用者と1対1で接するので、その分大変なこともあります。人と、人の命と向き合う尊い仕事であり、なってみてわかる良さがある、醍醐味のある仕事です。ぜひ、この仕事に興味を持ってチャレンジしてください。



令和6年度 和歌山県社協事業報告・決算報告の概要

令和6年度は、「ともに生きる地域社会（わかやま）の実現をめざして」ふだんのくらしのしあわせをみんなの力でつくり出す」をテーマとする第6次和歌山県社会福祉協議会活動計画の5か年計画の第3年次として、各事業に取り組みました。

重点目標である「社会的孤立への対応」では、県市町村社協連絡協議会と連携し、特例貸付借受人等生活困窮者への支援をはじめとする4つのテーマで業務課題検討会を開催し、それらの検討内容を踏まえた研修会等の企画・実施に取り組みました。

また、「地域福祉を支える組織や専門職の確保・養成」では、求職者と求人事業者との効果的なマッチングを行うため、ハローワークとのさらなる連携強化を図り、介護分野における生産性向上の取組を支援するための相談窓口を設置しました。そのほか、「自然災害への対応」では、能登半島被災地への支援として、県内社協職員の派遣及びボランティアバスの運行を行うとともに、広域訓練を開催し、近年の災害からの学びを踏まえた活動を実施しました。加えて、「災害福祉支援ネットワーク・災害派遣福祉チーム（D-WAT）」の運営では、新たに34名をチーム員登録しました。

事業報告・決算報告の詳細は、県社協ホームページをご覧ください。

【お問合せ先】総務企画部 総務経営班
TEL 073-435-5222



ホームページ

◆ 生活福祉資金会計関係 収支概要

(単位：円)

収 入	
経常経費補助金収入	23,717,000
貸付事業収入	430,909,066
積立資産取崩収入	232,269,641
生活福祉資金会計繰入金収入	14,875,535
その他	1,492,034
前期末支払資金残高	2,064,498,261
計	2,767,761,537

支 出	
人件費支出	57,132,825
事業費支出	214,584,875
事務費支出	40,506,998
貸付事業支出	73,329,426
積立資産支出	364,119
生活福祉資金貸付事務費会計繰入金支出	14,997,752
その他	572,129,950
当期末支払資金残高	1,794,715,592
計	2,767,761,537

◆ 一般会計 収支概要

(単位：円)

収 入	
会費収入	9,906,250
寄附金収入	11,645,854
経常経費補助金収入	256,823,922
受託金収入	115,963,039
事業収入	26,277,951
退職共済預り金収入等	2,117,396,932
その他	53,758,540
前期末支払資金残高	712,953,899
計	3,304,726,387

支 出	
人件費支出	258,316,334
事業費支出	390,964,661
事務費支出	28,187,943
退職共済事業支出	25,213,434
助成金支出	28,910,914
退職共済事業管理資産支出等	1,900,106,654
その他	15,597,489
当期末支払資金残高	657,428,958
計	3,304,726,387



光永建設工業株式会社様より
「ご寄付をいただきました！」

県民の皆様には、いつも赤い羽根共同募金にご協力を賜りありがとうございます。
この度、光永建設工業株式会社様（本社：和歌山市）より社会貢献活動の一環として、赤い羽根共同募金にご寄付をいただきました。

チームワーク、コミュニケーションを大事に、「人が育つ環境の整備」実現を目指されており、様々な福祉活動へもご寄付されるなど、地域づくりに大きく貢献をされています。

今回のご寄付は、和歌山県の地域福祉推進に活用させていただきます。
ご協力誠にありがとうございました。



令和7年5月7日（水）
和歌山県共同募金会会長感謝状をお渡しいたしました。
光永建設工業株式会社 代表取締役 池永 聖 様

●ご相談ください。

法人様の社会貢献活動を赤い羽根共同募金会がお手伝いさせていただきます。社会貢献活動の一環として、共同募金へご寄付していただく法人様が増えています。

事業所や店舗に、赤い羽根の募金箱や、売上の一部が赤い羽根共同募金に寄付される自販機を設置していただくこともできます。

赤い羽根 わかやま



お問合せ先

社会福祉法人和歌山県共同募金会
〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2
県民交流プラザ和歌山ビッグ愛7階
TEL 073-435-5231 FAX 073-435-5232

HP <https://www.akaihane-wakayama.or.jp/>

メール info@akaihane-wakayama.or.jp



撮影のためマスクを外していただいています



代表取締役 社長
冷水 康浩 さん

（社会復帰を支える） 自立更生支援活動

株式会社信濃路（以下、信濃路）は、平成24年から協力雇用主として罪を犯した方等の自立・社会復帰を支援。平成25年からは、職親プロジェクト（以下、プロジェクト※1）に参画されています。今回、自立更生支援活動に長年携わられている冷水康浩さんにお話を伺いました。

※1 職親プロジェクト…「就労」、「教育」、「住居」、「仲間づくり」の視点で刑務所出所者、少年院
出所者の社会復帰を応援するプロジェクト

しなのじ 株式会社信濃路

昭和50年創業。
和歌山を中心に信州そば・うどん
を主とした和食専門店を運営。

お問合せ先
和歌山市松島105-3 TEL073-471-1088



「社会復帰の第一歩」を応援

近年の再犯者率は50%近く（※2）、この社会問題をどうにかしたい「出所者の社会復帰の第一歩を応援したい」という想いからスタート。

今では、刑務所内での合同説明会の実施や、ハローワークを通じて求人募集など、協力体制ができていますが、プロジェクト参画当初は成功事例も少なく、私たちがプロジェクト発展の火種になろうと奔走していました。

※2 刑法犯再犯者率は、平成24年45.3%、令和5年47%と50%近い値を推移している。（令和6年版再犯防止推進白書より）

支援を通じて初の店長候補者！

これまで刑務所や少年院を出所し、信濃路で就労された方は約30名。その中には、騙されて犯罪に関わった方や、虐待など家庭環境の影響で犯罪をしてしまった少年少女もいます。

私たちは、そのような方にとって「最初に頼れる存在」となり、たとえ信濃路で働き続けなくても、私たちの活動が出所後の生活の一つの希望となれば、という想いのもと取り組んでいます。

そのため、出所前から就労希望者と手紙を交換し（長い方で



信濃路 岩出バイパス店のみなさん



キャリアアップや入口支援も

は2年間も！、県外であっても出所日に立ち会います。また、保護観察中の住居確保の支援、家賃等の補助も行っています。刑務所内で面接したある方は、内定後の手紙交換で出所後の仕事のイメージをすっかり持つことができ、現在、働き始めて約4年になりますが、その仕事ぶりから次期店長候補者です。結婚や出産の際にも連絡をくれて、自分のこともよくかわいく思っています。

今後は、キャリアアップに繋がる教育支援制度の構築や、当プロジェクトのような出口支援だけでなく、犯罪をしないための入口支援にも携わっていきたいと考えています。

福祉サービスについて、お困りのことはありませんか？

例えば、こんな時・・・

- わかりやすく説明してほしい。
- プライバシーをもう少し配慮してほしい。
- 職員の態度や言葉づかいが悪い。
- 大切にしていたものを捨てられた。
- サービス内容が契約した内容と違う。
- 暴力や虐待を受けている。

まずは、福祉サービスを受けている事業所にご相談ください。

福祉サービスに関する苦情は、まずは事業者段階での解決が望めます。

事業者は、「苦情受付担当者」と「苦情解決責任者」を設置し、利用者からの苦情の適切な解決に努めることになっています。

また、苦情解決に客観性を確保するため「第三者委員」を設置している事業所においては、第三者委員に相談することができます。

県福祉サービス運営適正化委員会にもお気軽にご相談ください。

利用者と事業者との話し合いで解決しない場合や、事業者に言い出しにくいときは、直接、福祉サービス運営適正化委員会に相談することもできます。

福祉サービス運営適正化委員会では相談者と事業者の双方の話し合いによる解決をめざし、助言、相談、事情調査、あっせんなどを行います。

【お問合せ先】

県福祉サービス運営適正化委員会 TEL073-435-5527

相談日 月曜日～金曜日（祝日等を除く） 相談時間 9時～17時

参加方法



1. カレンダーをチェック →
2. 興味のある体験活動をクリック
3. 参加条件を確認し、お問合せ先へ連絡・申し込み

この夏、あなたもボランティア活動に参加してみませんか。

お問合せ先

県ボランティアセンター（県社協内）

TEL073-435-5220

E-mail:waka-vc@wakayamakenshakyo.or.jp

令和7年度
社会福祉施設
総合損害補償

しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険

検索

老人福祉施設、
障害者支援施設、
児童福祉施設などに

スケールメリットを活かした割安な保険料で
充実補償をご提供します！

◆加入対象は、社協の会員である
社会福祉法人等が運営する社会
福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償（賠償責任保険、動産総合保険等）

▶ 保険金額		基本補償(A型)		見舞費用付補償(B型)	
賠償事故	身体賠償（1名・1事故）	2億円・10億円	2億円・10億円	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償（1事故）	2,000万円	2,000万円	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償（期間中）	200万円	200万円	200万円	200万円
	うち現金支払限度額（期間中）	20万円	20万円	20万円	20万円
	人格権侵害（期間中）	1,000万円	1,000万円	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失（期間中）	1,000万円	1,000万円	1,000万円	1,000万円
	徘徊時賠償（期間中）	2,000万円	2,000万円	2,000万円	2,000万円
お見舞い等	事故対応特別費用（期間中）	500万円	500万円	500万円	500万円
	被害者対応費用（1名につき）	1事故10万円限度	1事故10万円限度	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用			死亡時100万円 入院時1.5～7万円 通院時1～3.5万円	

保険期間1年

▶ 年額保険料(掛金)		基本補償(A型)	
補償本 (A型)	定 員	1～50名	35,000～61,460円
		51～100名	68,270～97,000円
		100名以降1名～10名増ごと	1,500円
付見舞費用 (B型)	基本補償(A型) 保険料	【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所：1,300円 通所：1,390円	
		+	



プラン2 施設利用者の補償

プラン3 職員等の補償

プラン4 法人役員等の補償

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約（賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、雇用慣行賠償責任保険、役員賠償責任保険、サイバー保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定期行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険）です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事
保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL：03(3349)5137

受付時間：平日の9:00～17:00（土日・祝日、年末年始を除きます。）

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL：03(3581)4667

受付時間：平日の9:30～17:30（土日・祝日、年末年始を除きます。）

(SJ24-11108 より抜粋)



～災害時にも美味しいごはんを～ 鯖トマトカレー

災害時に貴重な水を出来るだけ使わず、無駄にしない、
ポリ袋で作るあったか「防災メシ」をご紹介します。

材 料

白ご飯…お米1合、水1カップ(200ml)、高密度ポリエチレン製の袋1枚
カレー…鯖の水煮缶1/2缶、カットトマト缶1/2缶、カレールウ大さ
じ3(1カケ)、高密度ポリエチレンの袋1枚

作り方

- 1.白ご飯、カレーともにそれぞれの材料を袋に入れ、空気を抜き、
上の方を縛る。
- 2.鍋に1/3～2/3の水を入れ、鍋底にお皿を敷きお湯を沸かす。
- 3.沸騰したら、白ご飯・カレーの袋を入れ、25分ゆでる。
お皿に入れたら、できあがり♪



募集中

ふれあい作品展 出品作品を募集しています！

老人福祉施設及び介護保険施設等を利用する高齢者が作成した作品を展示する「ふれあい作品展」を開催します。

出品者資格 県内の老人福祉施設や介護保険施設等の利用者の方々です。
申込者は県内老人福祉施設及び介護保険施設等の設置法人となります。

会 場 和歌山ビッグ愛1階 展示ホール
出 品 料 無料
申込方法 電子メールまたはFAXで申込書を県社協までご提出ください。

開催期間 11月27日(木)～12月1日(月)
10時～17時
ただし、11月27日は13時から開催します。

申込期限 9月30日(火)必着

※作品の搬入・搬出の詳細及び出品規程等は開催要領をお取り寄せいただくかホームページからご確認ください。

【お問合せ・申込先 地域福祉部 健康生きがい班 TEL073-435-5214 FAX073-435-5221】

申込受付中

福祉人材キャリア形成支援研修



研 修 名	開催日時	会 場	受講申込期限
アンガーマネジメント研修	8月 5日(火) 10:25～15:30	和歌山ビッグ愛	7月 15日(火)
アサーティブコミュニケーション研修	8月 8日(金) 10:25～15:30	和歌山ビッグ愛	7月 15日(火)
採用や雇用継続のための職場づくり研修	8月 21日(木) 10:25～16:00	和歌山ビッグ愛	7月 31日(木)
感染症予防対策研修(紀南編)	8月 27日(水) 10:25～16:00	ビッグ・ユウ(田辺市)	8月 6日(水)
感染症予防対策研修(紀北編)	8月 29日(金) 10:25～16:00	和歌山ビッグ愛	8月 6日(水)
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 【管理職員編】	9月 3日(水) 9:55～17:10 9月 4日(木) 9:25～16:40	和歌山ビッグ愛	7月 4日(金)
業務継続計画(BCP)策定・運用支援研修	9月 9日(火) 10:25～16:00	和歌山ビッグ愛	8月 19日(火)
採用戦略としての広報力向上研修	9月 17日(水) 10:25～16:00	和歌山ビッグ愛	8月 27日(水)

※研修の受講には、受講料がかかります。 ※県社協会員は、会員価格で受講いただけます。 ※定員(先着)になり次第締め切ります。
※感染症や自然災害等の事由によっては、中止になる場合があります。 ※詳細は県社協ホームページをご覧ください。 ※直接お問合せください。



【お問合せ先】県福祉人材センター「ハートワーク」(県社協内)TEL073-435-5210



読者アンケートはこちら

この冊子は、環境に優しい植物油インキで印刷しています。

